

# 被災写真を洗浄

## 真備 ボランティア根気強く

倉敷市災害ボランティアセンターは21日、西日本豪雨で泥水に漬かった写真の定例洗浄

会を、市真備保健福祉会館(同市真備町箭田)で始めた。すでに洗浄ボランティアを養成し



写真洗浄に取り組むボランティア

ながら被災写真を受け入れており、当面は週1回活動する。

同センターでは、グラフィックデザイナー

福井圭一さん(48)と東

京都と、県内の写真

店経営者らの呼び掛け

に応じて被災写真の洗

浄に着手。東日本大震

災の被災地でも同様の

活動に当たった福井さ

んらが9月末から講習

会を3回開いてボラン

ティアにノウハウを伝

えた。併せて被災写真

を募り、これまでに計

2万枚以上が持ち込ま

れた。

21日の洗浄会には東

京や香川、山口など県

内外からボランティア35人が参加。泥水を吸ったアルバムから写真をシートごと切り出して水洗いしたり、乾燥させた後に薬品を染み込ませた布巾で細かい汚れを落としたりと、根気強く丁寧に作業を続けた。

同町川辺で被災し、

写真洗浄を依頼した岩

崎美佳子さん(59)は

「受け入れる所が地元

にでき助かる。大切な

思い出と一緒に前へ進

める」と感謝した。福

井さんは「被災者が少

しでも前を向けるよ

う、なるべく多くの写

真を元通りにしたい」と話している。

洗浄会は同会館で日

曜(午前10時～午後4

時)に行く。写真の持

ち込みなどの問い合わせ

せは同センター(移転降。086-697-のため電話は25日以0111)。(西平亮)